



すまいる

ニュースレターVol.6

医療法人社団 五稜会病院

発行日 2023年12月

発行元 医療サービス向上委員会

●閉鎖病等における通信機使用ルール変更について

五稜会病院では11月6日より、閉鎖病棟における通信機器使用ルールが変わりました。今まで病棟内に持ち込めなかった携帯電話、タブレット端末、ノートパソコンの3種類の通信機器について、使用ルールを守ってもらいながら病棟内で使用できるように変更しました。この変更は、生活、学業、仕事、人間関係などの中で、これらの通信機器が大きな役割をもっており、使用できないことのデメリットが大きいと考えたためです。



辛い症状をどうかしたいと閉鎖病棟に入院しても、学校のオンライン講義に参加できない…、仕事の取引相手との連絡が取れない…、友達と連絡が取れない期間が長いと不安になる…等々。体調や環境を整えるための入院が、逆に退院後の生活に大きな影響を与えたいま事になりかねない。今までもそうならないようにと病棟スタッフは創意工夫しながら対応していました。今回のルール変更が閉鎖病棟に入院する方々への一助になればと思います。ただし、SNS上のトラブル等による影響、仕事のストレスから離れたいなど、治療上、通信機器から離れたほうが良い場合は距離を置く方をお勧めしております。

今後、入院をご検討されている方は、主治医と相談してください。

(2病棟師長 藪内)

～2023 接遇研修について～

昨年度に引き続き、「多職種連携」をテーマに大正製薬株式会社に協力をいただき接遇研修を開催しました。ねらいは、チーム力を高めてよりよい医療サービスの提供することです。

医療は単一の職種での関与では解決できません。様々な職種のスタッフの協働作業が不可欠です。つまり、良いチームを作ることが良い作業につながるのです。

多職種間で連携し、良いチームとして成長していくには、良いコミュニケーションが必須です。他職種とのコミュニケーション3か条があります。

第1条 「自分の職種の専門的立場」で「患者さんのためにと言う視点」から伝える

第2条 他職種の方への尊敬と感謝の気持ちを持つ

第3条 聴く方も傾聴を心掛ける



より良い連携は患者さんに安全安心な医療を提供することにつながります。一人一人の患者さんのためにお互いの専門性を尊重し合いながら、チームワークよく協働できる関係づくりを今後も目指していけるように今後も研修会を企画していきたいと思います。

(看護部長 吉野)

マイナ受付機を設置しました

～マイナンバーカードを保険証として～

令和5年3月からマイナ受付機を2台設置しました。

マイナ受付機はマイナンバーカードを保険証として利用できる便利な機械です。診療報酬改定により同年4月から保険証の資格確認をマイナンバーカードで行うことで医師が診療情報を確認することができ、マイナンバーカードの利用有無で料金が変わることもあって、受診する患者さんがマイナ受付機を利用しやすくなるような案内を行っています。

(医事課主任 高橋)



●外来駐車場にフェンス取付

外来駐車場の壁が低い為、またいで乗り越えようとしてつますく方がいたりして、怪我する人が出る前に柵を取り付けました。(植木の間も乗り越えないようにしましょう。)

(総務課長 小林)



編集後記

コロナも5類に下がりましたが、まだまだ感染対策をしながらの診療となっておりますが、皆様にはたくさんのご協力頂きありがとうございました。今後ご満足いただける医療の提供をしていけるよう、医療サービスの向上に取り組んでいきたいと思っております。みなさまからの貴重なご意見ご要望もお待ちしております、よろしくお願いいたします。